

決算特集！

決算発表に期待したい注目銘柄7選



2021年7月14日
エクイティ情報部

本日のポイント

☑ 日米で決算発表シーズンが到来

→ 決算発表のスケジュールを**チェック**

☑ 企業決算を占う**5つ**のポイント

→ (会社計画、為替レート、月次動向、設備投資、成長力)

☑ 注目銘柄**7選**

まずは・・・

日本企業

- ☑ 3月期決算企業は**第1四半期決算(1Q)**、上方修正の有無
- ☑ **売上高と営業利益（本業）** VS市場予想
- ☑ 通期予想に対する進捗率の確認
 - 1Q→25%、2Q→50%、3Q→75%、4Q→100%**
 - 1Q時点で25%を超過していれば、今後**上方修正期待**も

米国企業

- ☑ 主要企業は**第2四半期(2Q)決算**、先行きの見通しも大切
- ☑ **売上高と1株利益予想** VS市場予想

主要企業の決算発表スケジュール（日本）

7月

日	月	火	水	木	金	土
11	12 (37)	13 (60)	14 (85)	15 (66)	16 (3)	17
	コーナン商事 ローツエ	キャンドウ	コメダ UUUM	串カツ田中 ファーストリテイリング		
18	19 (2)	20 (7)	21 (18)	22	23	24
		ディスコ	日本電産			
			3月期企業の決算本格化			
25	26 (19)	27 (30)	28 (68)	29 (150)	30 (438)	
	日東電工 富士通ゼネラル	三菱自動車 信越化学	TDK アドバンテスト エムスリー	ファナック 新光電工 キーエンス	武田薬品 コマツ	

各種資料より岡三にいがた証券作成、7月13日時点、予定は今後変更される可能性があります。
 ()内は決算発表企業数、または予定企業数

7月→約1,100社 8月→約2,200社が予定

主要企業の決算発表スケジュール（米国）

7月

日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
		JPモルガン・チェース バンク・オブ・アメリカ モルガン・スタンレー ゴールドマン・サックス ウェルズ・ファーゴ				
主要金融機関から決算発表が本格化						
18	19	20	21	22	23	24
		ネットフリックス インテュイティブ・ サージカル	ジョンソン&ジョンソン コカ・コーラ	インテル	ネクステラ・エナジー ハネウエル	
25	26	27	28	29	30	
	テスラ	アップル アルファベット マイクロソフト	サービスナウ フェイスブック		キャタピラー	

各種資料より岡三にいがた証券作成、7月13日時点、予定は今後変更される可能性があります（暫定、過去からの推定を含む）。

企業決算を占うポイント①会社計画

☑️ **企業はコロナ禍**の影響もあり、

不透明感から業績予想を**保守的**に見積もる

☑️ **もともと**、会社業績予想を慎重に見積もるケース

→ **第1四半期の実績を踏まえ** → **業績上方修正**へ

例) 主力海運株(日本郵船、川崎汽船、商船三井)

コンテナ船運賃や荷動き好調 → 1Q決算前に業績上方修正を発表

安川電機(6506)、1Q決算時に通期業績見通しを上方修正

→ 発表した内容が市場予想を上回り、翌営業日(7/12)の

株価は上昇(5,410円 → 5,760円、**前営業日比6.5%高**)

各種資料より岡三にいがた証券作成

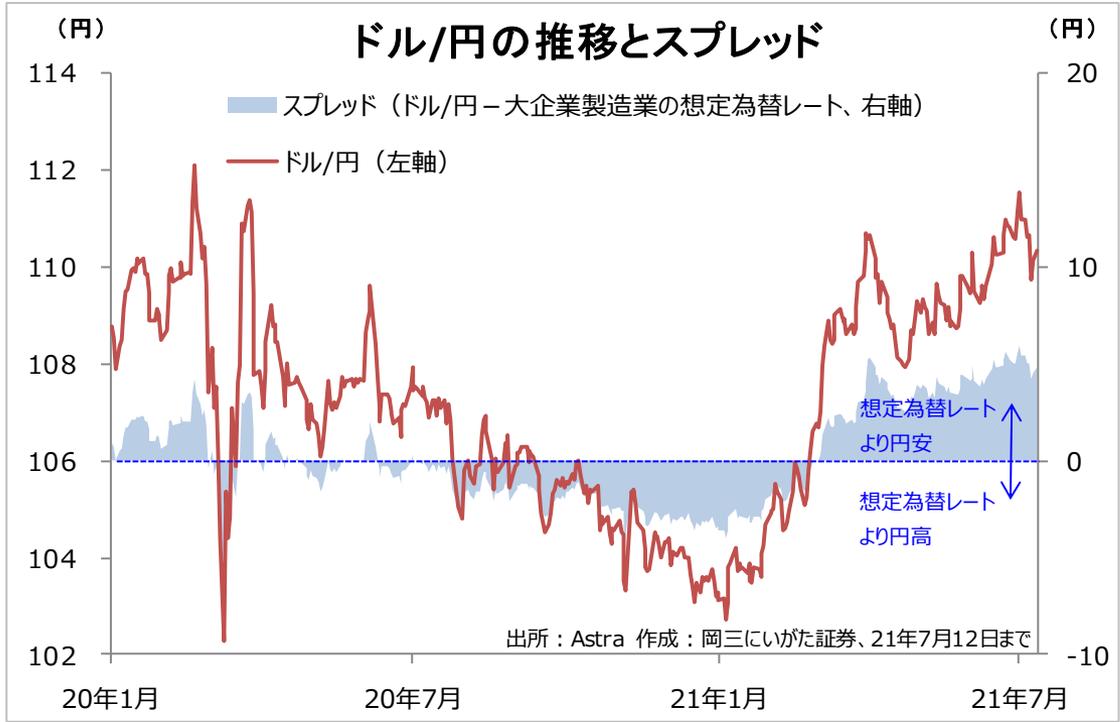
最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

企業決算を占うポイント②為替レート

☑️ 足元の為替レート(ドル/円)は円安基調

☑️ 日銀短観で、21年度の大企業製造業の想定レートは

→1ドル=105円57銭→実勢よりも円高水準！



企業決算を占うポイント②為替レート

☑ 円安が業績の追い風に

各企業の想定為替レート(4月-6月発表分から抜粋)

コード	銘柄名	前提	発表日	コード	銘柄名	前提	発表日
1	6981 村田製	107.00	4月28日	11	8031 三井物	105.00	4月30日
2	6383 ダイフク	106.44	5月11日	12	6501 日立	105.00	4月28日
3	6963 ローム	105.44	5月10日	13	6902 デンソー	105.00	4月28日
4	7267 ホンダ	105.00	5月14日	14	6702 富士通	105.00	4月28日
5	7203 トヨタ	105.00	5月12日	15	6762 TDK	105.00	4月28日
6	6701 NEC	105.00	5月12日	16	6954 ファナック	105.00	4月27日
7	7735 スクリーン	105.00	5月11日	17	6857 アドバンテスト	105.00	4月27日
8	7951 ヤマハ	105.00	5月10日	18	4901 富士フイルム	104.00	5月12日
9	8001 伊藤忠	105.00	5月10日				
10	6301 コマツ	105.00	4月30日				

各種資料より岡三にいがた証券作成、7月12日時点、

企業決算を占うポイント③月次動向

☑月次動向は、企業業績のモノサシ？

→月次売上高を確認することで売上高をイメージ

☑前年のコロナ禍による影響（反動）

→業種によってコロナ禍の影響が異なる

☑期初から好調な月次が続く企業

神戸物産(3038)・・・**業務スーパー**が堅調

アークランドサービスHD(3085)・・・**かつや、からやま**等を展開

ミスミG(9962)・・・4月、5月ともに前年同月を上回る

各種資料より岡三にいがた証券作成

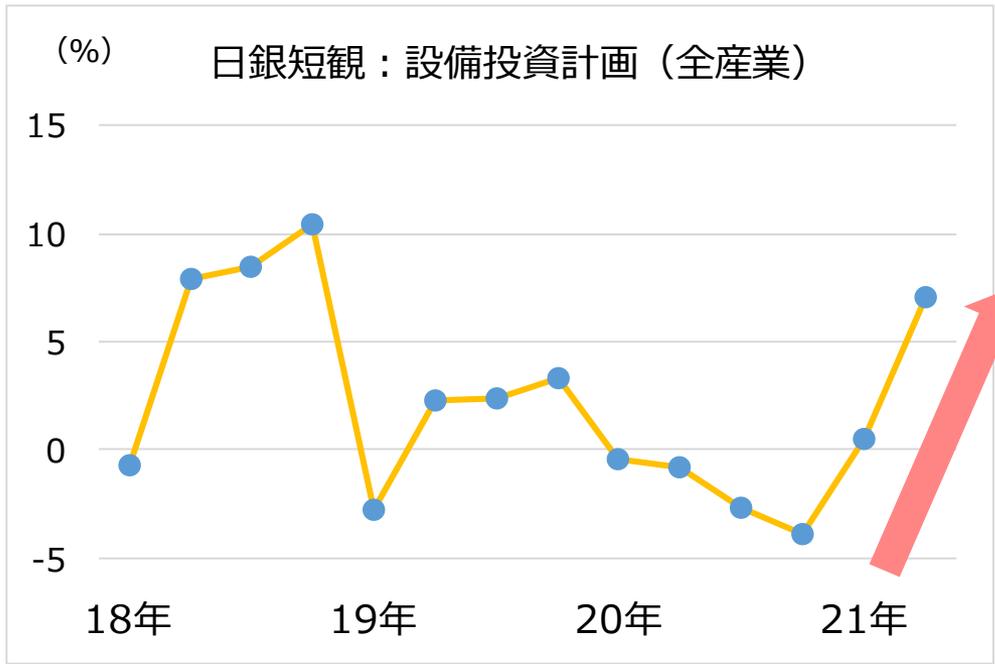
最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

企業決算を占うポイント④設備投資

☑ DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展

→デジタル化に向けて重い腰を上げる企業も

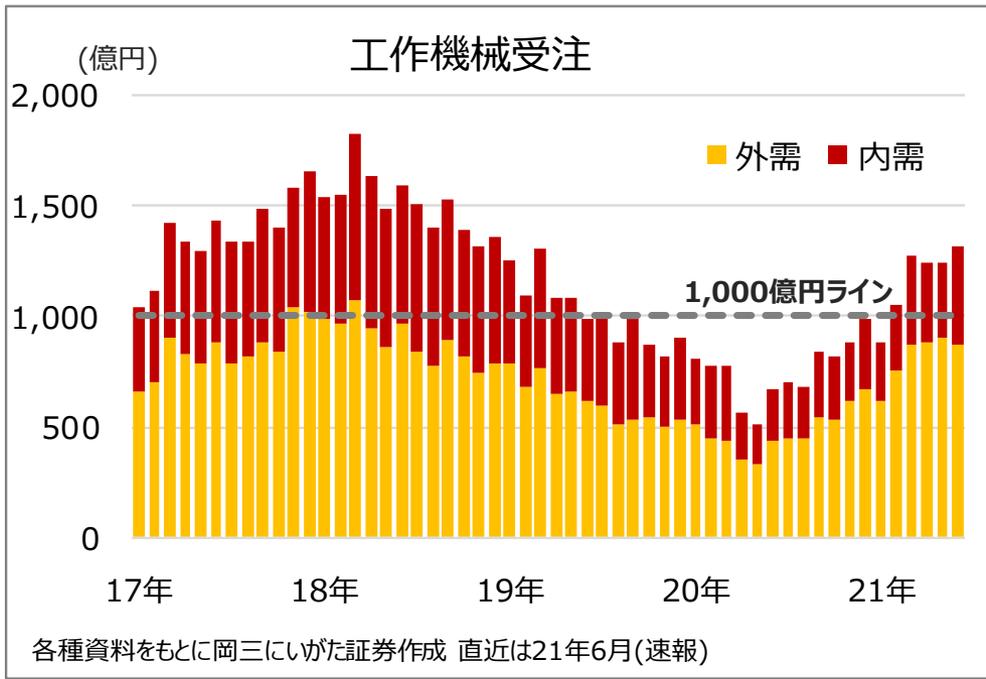
☑ 日銀短観で、全規模全産業の設備投資計画を上方修正



出所：日本銀行、
作成：岡三にいがた証券
2021年6月調査まで

企業決算を占うポイント④設備投資

- ✓ 6月の工作機械受注(速報値)は前年同月比96.6%増
- 8カ月連続で前年実績を上回る
- 単月としては18年12月以来の水準を回復



企業決算を占うポイント⑤成長力

☑️ 超大企業にも関わらず高成長を続ける企業

→ GAFAMを中心とした米巨大IT関連は高値更新

☑️ 成長分野への投資が奏功、収益の柱に

→ 成長分野の育成が進むことで、中長期的な成長余地

売上高伸び率	4期前	3期前	2期前	1期前
G(アルファベット A : GOOGL)	21.4%	23.4%	19.7%	13.6%
A(アップル : AAPL)	6.3%	15.9%	-2.0%	5.5%
F(フェイスブック : FB)	47.1%	37.4%	26.6%	21.6%
A(アマゾン・ドット・コム : AMZN)	30.8%	30.9%	20.5%	37.6%
M(マイクロソフト : MSFT)	5.1%	14.2%	14.0%	13.6%

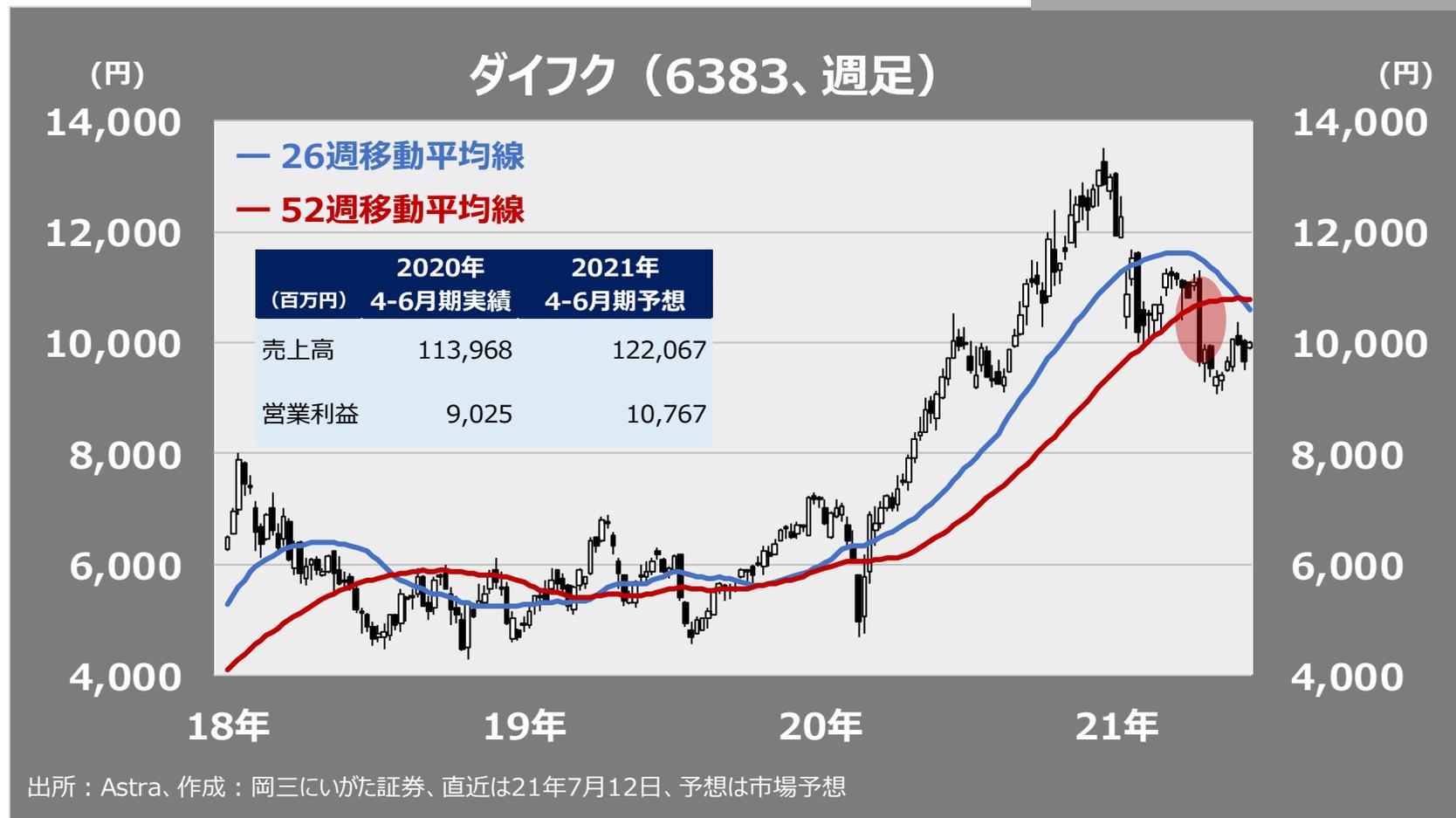
各種資料より岡三にいがた証券作成

ダイフク (6383) <会社計画>

決算発表予定日：8月5日

決算期：3月

株価 10,000円



決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

トヨタ自動車 (7203) <円安メリット>

決算発表予定日：8月4日

決算期：3月

株価 9,815円



出所：Astra、作成：岡三にいがた証券、直近は21年7月12日、予想は市場予想

決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

ミスミグループ本社（9962） <月次好調>

決算発表予定日：7月30日

決算期：3月

株価 3,985円



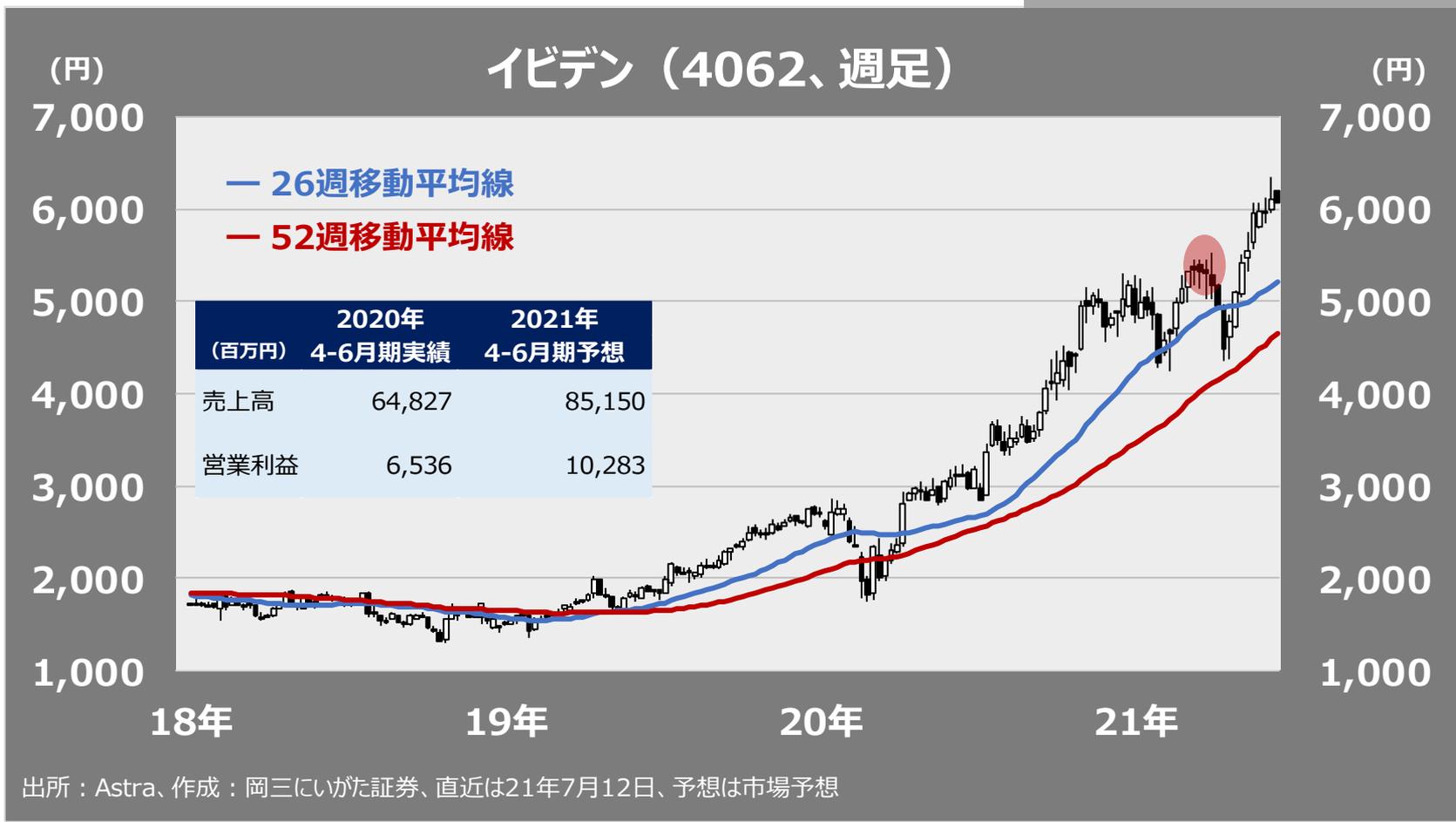
決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

イビデン (4062) <積極的な設備投資>

決算発表予定日：8月4日

決算期：3月

株価 6,070円



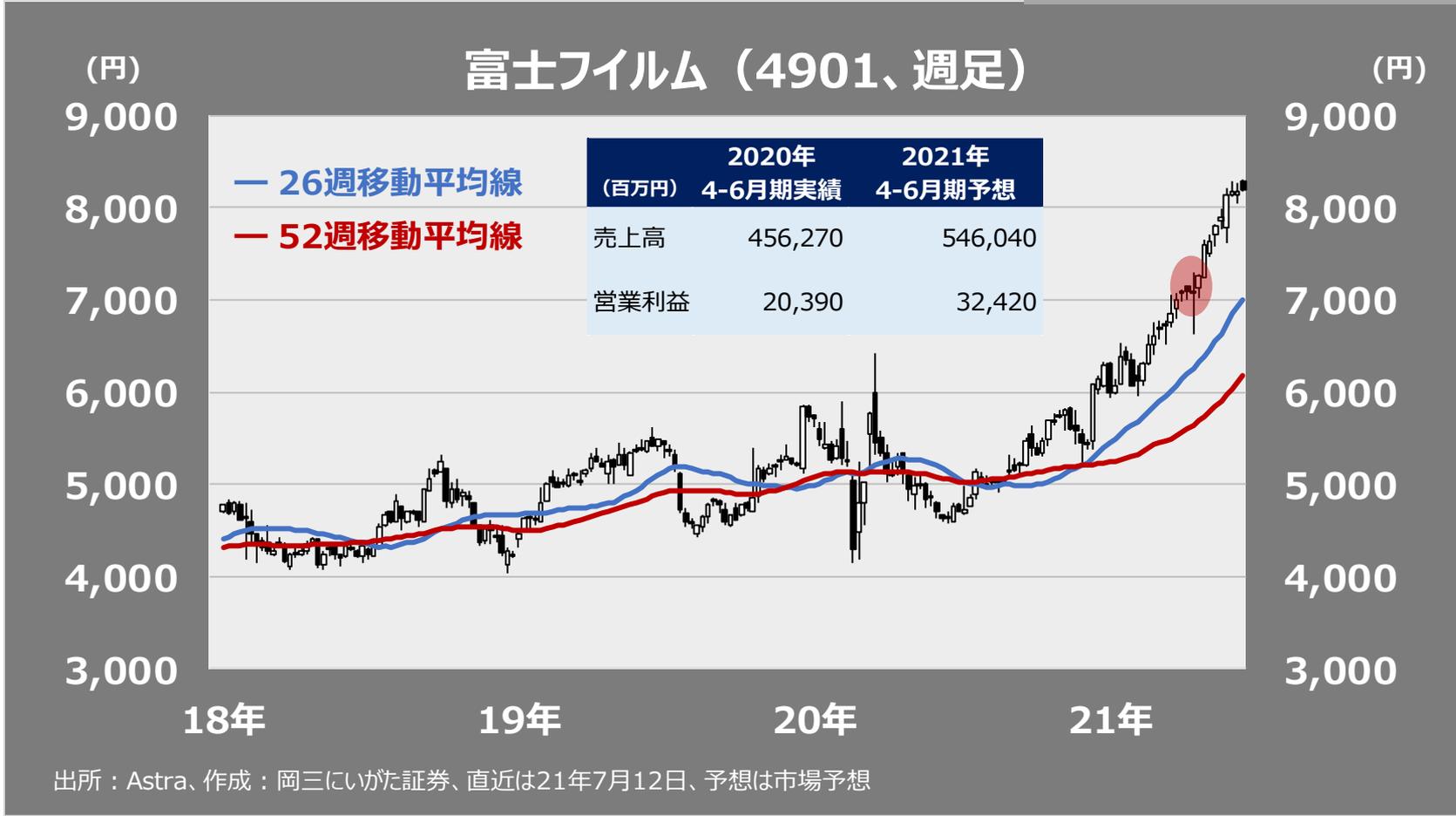
決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

富士フィルム (4901) <ヘルスケア事業の高成長が続く>

決算発表予定日：8月13日

決算期：3月

株価 8,190円



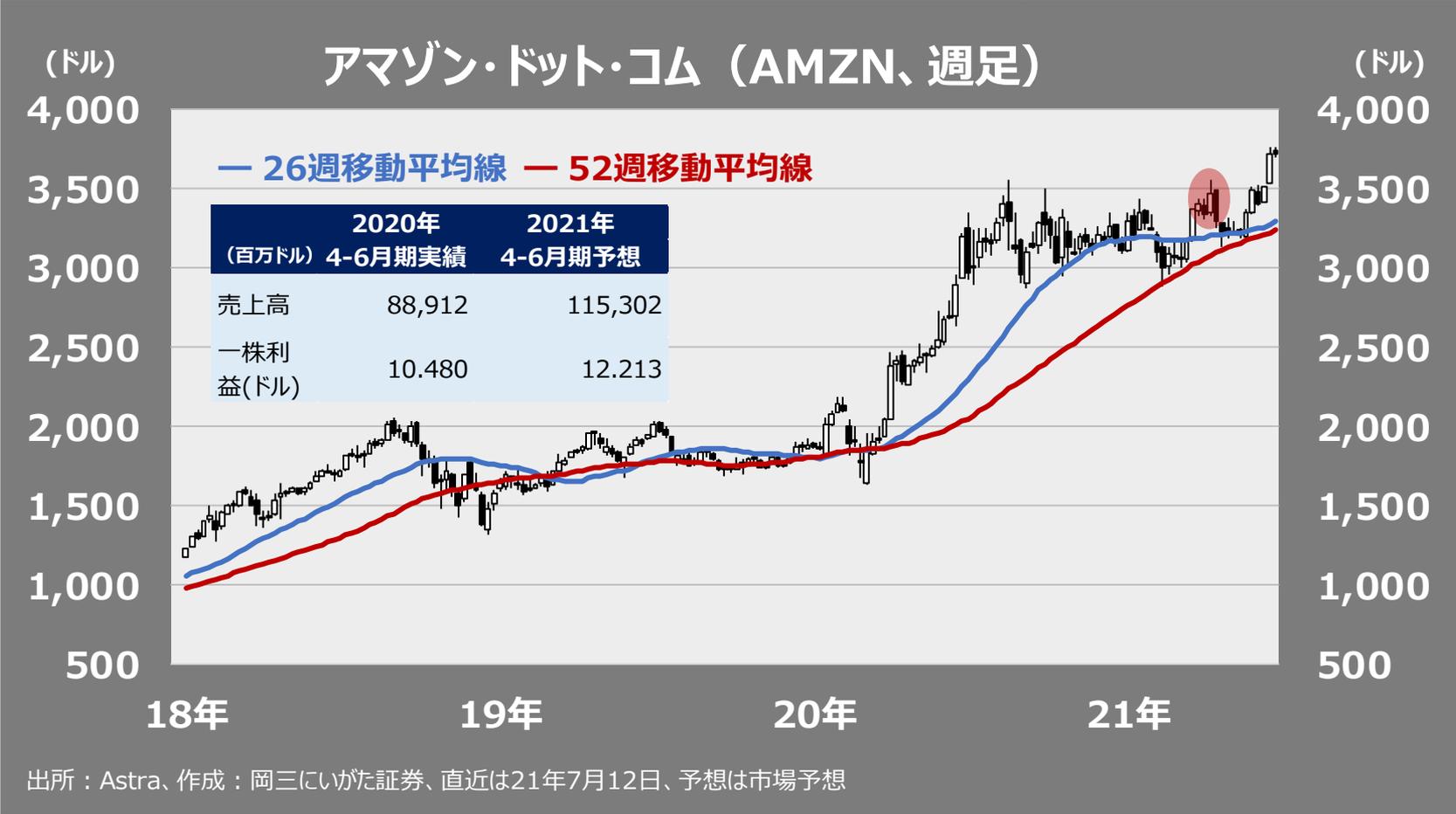
決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

アマゾン・ドット・コム (AMZN) <圧倒な成長力>

決算発表予定日：7月30日

決算期：12月

株価 3,718.55ドル



決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

アイデックスラボラトリーズ (IDXX) <高い売上成長率>

決算発表予定日：7月30日

決算期：12月

株価 659.54ドル



出所：Astra、作成：岡三にいがた証券、直近は21年7月12日、予想は市場予想

決算発表予定は変更になる場合があります（暫定、過去からの推定を含む）、7月12日時点、業績予想等は将来の株価を保証するものではありません。

今後のオンラインセミナーの予定

★7月**17**日（土）**9：00**～9：20

『**テクニカル特集！ テクニカル分析から見た注目銘柄7選**』

講師：エクイティ情報部課長 **齋藤 精**



手数料およびリスクについての重要な注意事項

<有価証券や金銭のお預りについて>

有価証券や金銭を当社の口座でお預りする場合には、当社では料金を頂戴いたしません。なお、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じ、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株 式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債 券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。

・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.1%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))

保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.145%(税込み))

換金時に直接ご負担いただく費用:換金手数料(お申込金額に対して1口当り最大1.1%(税込み))また、信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)

その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。

・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。

・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。

・上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

この資料は岡三にいがた証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本資料に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三にいがた証券およびその関係会社、役員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

岡三にいがた証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号

加入協会:日本証券業協会

(2019年10月改訂)